

R4年KPI実績・R5年アクションプラン進捗管理

R6.3.26 第2回観光立市推進会議

■資料① 令和4年の観光入込客数等の状況<Topics>

【年間観光入込客数】

新型コロナの感染拡大前（R1年）の8割超水準まで回復。うち、宿泊客数はR1年比約94.6%まで、日帰り客数は同比約79.9%までそれぞれ回復した。

【年間観光消費額】

宿泊施設の高付加価値化（客室単価の向上）や物価上昇等により、R1年比約110.1%とコロナ禍前を上回った。うち、宿泊の消費額は65億3,100万円で同比約130.6%。一方、日帰りの消費額は13億6,500万円で同比約63.0%の水準にとどまった。

【宿泊者数平準化率】

令和4年度 平準化率	人泊数(人)	閑散期				繁忙期			
		4月	6月	9月	10月	8月	11月	12月	1月
		3,103	2,718	3,748	3,290	11,078	4,504	6,288	5,137
人泊数計(人)	① 12,859				② 27,007				
平準化率(①/②)	47.6%								

(国内大手OTA宿泊実績データを基に算出)

◆年間観光入込客数(単位:万人)

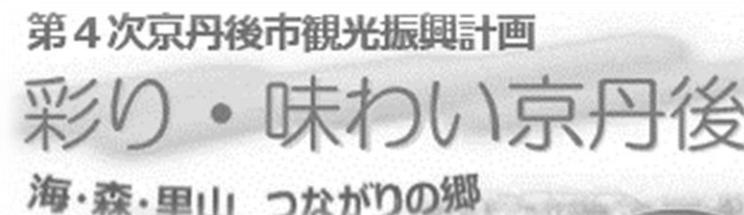
	R1年	R4年	比較
宿泊	37	35	94.6%
日帰り	174	139	79.9%

(京都府観光入込客調査報告書)

◆年間観光消費額(単位:百万円)

	R1年	R4年	比較
宿泊	5,002	6,531	130.6%
日帰り	2,168	1,365	63.0%

(京都府観光入込客調査報告書)



■資料② R5アクションプロジェクト進捗管理<総括>

令和5年度は、「第4次京丹後市観光振興計画」の計画期間の初年度であったが、全アクションプロジェクトにおいて、「実施」又は「着手」という進捗状況となった。同計画の、市、観光関係団体、観光事業者、市民への周知・浸透を図り、「観光立市の実現」という共通の目標に向かって、それぞれの主体が自らの役割を認識した上で、引き続き一体となって取り組んでいく必要がある。